

2020年8月11日

上場会社名 原田工業株式会社  
コード番号 6904 URL <https://www.harada.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 康晴  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長 (氏名) 青木 隆

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,085	24.1	434		535		336	
2020年3月期第1四半期	10,655	0.2	220	16.0	192	42.5	130	49.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 512百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 346百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.46	
2020年3月期第1四半期	6.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	33,239	13,050	39.3	600.01
2020年3月期	34,437	13,726	39.9	631.07

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,050百万円 2020年3月期 13,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		7.50	7.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では、2021年3月期の配当予想は未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で配当予想を速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業活動への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	21,758,000 株	2020年3月期	21,758,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	7,141 株	2020年3月期	7,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	21,750,859 株	2020年3月期1Q	21,750,898 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業活動への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大の影響による企業収益の悪化、外出自粛や移動制限による個人消費の減少等により、世界全体の経済が深刻な影響を受け、景気は急減速いたしました。

当社グループの属する自動車業界におきましては、こうした世界全体の景気の急減速により、自動車の生産台数が日本、アジア、北中米、欧州、全ての市場において大幅な減産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ、減産となりました。

このような状況のもと、当社グループは足元における収益確保及びコスト競争力の強化を目的として、新たに「第二次コスト構造改革計画」を2020年4月に策定し、収益力の向上に取り組んでまいりました。「第二次コスト構造改革計画」は、2016年4月～2018年3月の2か年で取り組んでまいりました「第一次コスト構造改革計画」における材料費の削減等の施策を更に深堀りすると共に、事業活動に係る全てのコストに関し、抜本的な構造の改革を断行してまいりました。

一方、中長期的な視点では、コネクテッドが実現する豊かなカーライフに貢献することを目指し、「新たな成長への挑戦」を基本戦略とした4か年（2019年4月～2023年3月）の中期経営計画「NEW GROWTH」に基づき、各施策の実行に注力してまいりました。「NEW GROWTH」では、「車載アンテナビジネスの強化」、「新しい価値づくり、新しい顧客創造」、「更なる成長の土台となる組織基盤の強化」の3つの戦略を掲げ、コスト構造改革の更なる進化による一層の収益力の向上に加え、自動運転時代到来に向けたものづくりの高度化等、特に「車載アンテナビジネスの強化」に係る諸施策を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴う世界の自動車生産台数の大幅な減少等により80億85百万円（前年同期比24.1%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少に伴う収益への影響を最小限に抑えるべく、徹底したコスト削減等に取り組んだものの、営業損失は4億34百万円（前年同期は営業利益2億20百万円）、経常損失は5億35百万円（前年同期は経常利益1億92百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億36百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億30百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ①日本

自動車生産台数の大幅な減少等により、外部売上高は19億57百万円（前年同期比47.6%減）、セグメント間の内部売上高は3億99百万円（同35.8%減）、営業損失は4億52百万円（前年同期は営業損失56百万円）となりました。

## ②アジア

自動車生産台数の中国市場における大幅な減少、為替の影響等により、外部売上高は19億98百万円（前年同期比18.8%減）、セグメント間の内部売上高は31億74百万円（同10.4%減）、前年同期に比べ販管費率は改善したものの、営業損失は2億7百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

## ③北中米

北米市場における自動車生産台数の減少や為替の影響等により、外部売上高は30億37百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント間の内部売上高は1億7百万円（同506.2%増）となり、営業利益は27百万円（同27.9%減）となりました。

## ④欧州

欧州市場における自動車生産台数の減少や為替の影響等により、外部売上高は10億92百万円（同12.5%減）、セグメント間の内部売上高は2億85百万円（同26.7%減）、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益1億34百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は236億9百万円（前連結会計年度末248億84百万円）となり、12億74百万円減少いたしました。これは主に「現金及び預金」が3億7百万円、「商品及び製品」が1億36百万円増加し、「受取手形及び売掛金」が15億1百万円、「原材料及び貯蔵品」が1億93百万円減少したことによるものであります。固定資産は96億29百万円（前連結会計年度末95億53百万円）となり、76百万円増加いたしました。これは主に「投資その他の資産」が2億1百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は332億39百万円（前連結会計年度末344億37百万円）となり、11億98百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は184億8百万円（前連結会計年度末188億65百万円）となり、4億57百万円減少いたしました。これは主に「短期借入金」が7億5百万円増加し、「支払手形及び買掛金」が8億17百万円減少したことによるものであります。固定負債は17億80百万円（前連結会計年度末18億45百万円）となり、65百万円減少いたしました。これは「退職給付に係る負債」が38百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は201億88百万円（前連結会計年度末207億11百万円）となり、5億22百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は130億50百万円（前連結会計年度末137億26百万円）となり、6億75百万円減少いたしました。これは主に「利益剰余金」が4億99百万円、「為替換算調整勘定」が1億86百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大による自動車メーカーの減産等は当社グループの操業に影響を及ぼしております。新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ見通せず、当社グループの事業活動への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため、2021年3月期連結業績予想につきましては引き続き未定としております。

業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

また、2021年3月期の配当予想につきましても引き続き未定としており、今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,881,254	6,189,157
受取手形及び売掛金	6,693,388	5,192,088
商品及び製品	5,750,918	5,886,932
仕掛品	670,765	678,077
原材料及び貯蔵品	4,715,590	4,522,026
その他	1,194,199	1,163,963
貸倒引当金	△22,045	△22,626
流動資産合計	24,884,071	23,609,618
固定資産		
有形固定資産	6,655,728	6,562,190
無形固定資産	345,305	313,543
投資その他の資産	2,552,618	2,754,185
固定資産合計	9,553,652	9,629,920
資産合計	34,437,723	33,239,539
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,169,344	2,352,150
電子記録債務	631,159	618,543
短期借入金	11,461,618	12,166,959
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	606,257	553,183
賞与引当金	299,257	420,445
役員賞与引当金	25,500	—
その他	1,672,516	1,297,002
流動負債合計	18,865,652	18,408,284
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付に係る負債	216,276	177,793
その他	1,129,480	1,102,672
固定負債合計	1,845,757	1,780,465
負債合計	20,711,409	20,188,749
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	10,211,971	9,712,514
自己株式	△2,377	△2,377
株主資本合計	14,088,756	13,589,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,162	△3,880
為替換算調整勘定	△190,434	△376,534
退職給付に係る調整累計額	△162,845	△158,095
その他の包括利益累計額合計	△362,442	△538,510
純資産合計	13,726,313	13,050,789
負債純資産合計	34,437,723	33,239,539

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,655,648	8,085,873
売上原価	8,360,552	6,561,883
売上総利益	2,295,095	1,523,989
販売費及び一般管理費	2,074,582	1,958,855
営業利益又は営業損失(△)	220,513	△434,866
営業外収益		
還付加算金	2,234	7,542
その他	31,268	24,318
営業外収益合計	33,502	31,860
営業外費用		
支払利息	57,094	69,276
為替差損	—	61,841
その他	4,447	1,704
営業外費用合計	61,542	132,822
経常利益又は経常損失(△)	192,473	△535,828
特別利益		
固定資産売却益	171	729
特別利益合計	171	729
特別損失		
減損損失	1,173	399
固定資産除却損	3,945	1,069
特別損失合計	5,118	1,469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	187,526	△536,567
法人税、住民税及び事業税	150,272	10,396
法人税等調整額	△93,254	△210,638
法人税等合計	57,018	△200,242
四半期純利益又は四半期純損失(△)	130,508	△336,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	130,508	△336,324

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	130,508	△336,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,330	5,281
為替換算調整勘定	217,406	△186,099
退職給付に係る調整額	3,466	4,750
その他の包括利益合計	215,542	△176,067
四半期包括利益	346,050	△512,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,050	△512,392
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,734,049	2,459,969	3,212,502	1,249,126	10,655,648	—	10,655,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	622,235	3,541,897	17,674	389,785	4,571,592	△4,571,592	—
計	4,356,285	6,001,866	3,230,177	1,638,912	15,227,241	△4,571,592	10,655,648
セグメント利益又は損失(△)	△56,189	△625	37,897	134,994	116,076	104,436	220,513

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額104,436千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が1,173千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,957,433	1,998,344	3,037,600	1,092,495	8,085,873	—	8,085,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	399,611	3,174,092	107,141	285,746	3,966,592	△3,966,592	—
計	2,357,045	5,172,436	3,144,742	1,378,241	12,052,466	△3,966,592	8,085,873
セグメント利益又は損失(△)	△452,475	△207,998	27,314	△953	△634,113	199,247	△434,866

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額199,247千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が399千円であります。